平成十四年（七月～十五年六月）

祭事暦

七月一日　月次祭（小祭）
八月一日　月次祭（小祭）
八月三・四・五日
恒例大祭
九月一日　月次祭・風祭（小祭）
九月一日（旧七月二四日）
諏訪祭宵祭（中祭）
十月一日　月次祭（小祭）
十月二十日　大国大祭・武尊祭
あわせて菅原道真命千百年
十一月一日　月次祭（小祭）
十一月二三日　新嘗祭（大祭）
十二月一日　月次祭
十二月四日　神迎祭（旧一一月一日）
十二月二三日　天長節祭
十二月三一日　大祓（師走大祓）
一月一日　歳旦祭（中祭）
二月一日　月次祭（小祭）
二月十一日　紀元節祭（中祭）
二月十七日　祈年祭（大祭）
三月一日　月次祭（小祭）
四月一日　月次祭（小祭）
四月八日　例大祭
五月一日　月次祭（小祭）
六月一日　月次祭（小祭）
六月三十日　大祓（夏越の祓）

その他の祭典

御社頭　初宮詣・七五三詣・車祓・厄除け・安産祈願・合格祈願等家内安全祈願祭・工事安全祈願祭他
出張祭典　地鎮祭・神棚奉鎮祭・竣工式他

フォト歳時記

【上の写真は5日、おみこしにさらしを巻き、街なかを渡御。この後還御された。】

【左の写真は、昨年八月四日の恒例大祭で西原新町に建てられた御仮屋前での記念撮影】

【沼田まつりで、奉仕団員に担がれ歩行者天国を渡御される榛名神社みこしの勇姿】

【上の写真は裃姿も凛々しい氏子総代と榛名神社みこし奉仕団員。右はみこし指揮に鈴が手渡されこれから渡御に出発】

【右の写真は、結婚式で伶人を先頭に本殿に向かう新郎新婦と親族。この後、神前に於いて新郎新婦は、永遠の愛を神様に誓います。】

【左の写真は、昨年十一月行われました氏子総代・敬神婦人会の合同研修旅行。厳島神社を正式参拝いたしました】

＜雅楽の練習会のご案内＞

◎第1、3月曜日（原則）6：30～
◎鳳笙・篳篥・龍笛の基本の曲、越天楽を演奏出来ることを目標にします。興味のある方大募集。

☎ 22－2655

※舞をやってみたい方もご連絡下さい。

ホームページ http：// harunanomori.com/

総代会新役員

会長　鷲頭長雄
副会長　金子廣久
〃　若松房雄
監査　吉野政雄
〃　牧野芳成
〃　林吉治

敬神婦人会役員

会長　清水貞子（高橋場町）
副〃　小林祐子（西原新町）
〃　林榛江（榛名町）
書記　金子かよ子（榛名町）
幹事　阿形ハツノ（東倉内町）
〃　雨森敬子（西倉内町）
〃　関根きくよ（柳町）
〃　富澤和子（高橋場町）
〃　桑原久子（材木町）
〃　霜垣はる（桜町）
〃　鷲頭岩子（上原町）
〃　井上匡子（東原新町）
〃　吉野照子（西原新町）
〃　宮地ミノル（榛名町）
〃　清水ユキ（清水町）
〃　見城宮子（薄根町）
顧問　宮司　金子浩隆
〃　氏子会長　鷲頭長雄

榛名神社

役員名簿

宮司　金子浩隆
祢宜　金子由紀子
権祢宜　金子三男
東倉内町参与　桑原弘
西倉内町参与　井上欽司
柳町参与　藤井幸吉
高橋場町参与　富澤勝美
材木町参与　中村英一
桜町参与　万代壽美雄
上原町参与　荒井輝矩
東原新町参与　中島靖浩
西原新町参与　入澤市太郎
榛名町参与　細谷俊雄
清水町参与　高柳謙一
薄根町参与　高橋初男
東倉内町氏子総代　田村正吉
〃　深津勝治
〃　関上十三男
西倉内町氏子総代　熊澤肇
〃　林吉治
〃　小池渥
柳町氏子総代　鈴木恒一郎
〃　山崎憲四郎
〃　桑原勝正
高橋場町氏子総代　若松房雄
〃　花山敏男
〃　今井和夫
材木町氏子総代　星野進
〃　和田雄二
〃　高橋重蔵
桜町氏子総代　高橋董
〃　入澤富重
〃　丸山勝
上原町氏子総代　鷲頭長雄
〃　片野善平
〃　茂木克巳
東原新町氏子総代　近藤剋
〃　星野直也
〃　小嶌正雄
西原新町氏子総代　吉野政雄
〃　武井満喜男
〃　中澤武三
榛名町氏子総代　金子廣久
〃　高橋弘
〃　斉藤信夫
清水町氏子総代　桑原勝雄
〃　山田忍
薄根町氏子総代　牧野芳成
〃　舟橋又一
〃　高井俊一